

関大アカウンティングスクールが 変わります

— 関西大学会計専門職大学院2013年度カリキュラム改正について —

関西大学会計専門職大学院の修了生の多くは、「超会計人」として、公認会計士としてだけでなく、会計の知識を活かして民間部門や公共部門など各界で活躍しています。

本大学院では、これまでも修了生の多様なキャリアパスに積極的に対応してきましたが、より一層の体系化を図るため、新たに2013年度入学生を対象として、カリキュラム改正を行います。

新カリキュラムを通じて、みなさんの将来に役立つ知識をスムーズに提供していきたいと考えています。

変更点 1 コース制の導入

公認会計士をはじめとした、みなさんが目指すべきそれぞれの将来の目標により柔軟に対応するためにカリキュラムの整備・充実を行い、コース制を導入します。ここで設置されるコースは、PAコース・PAIBコース・RPコースの3つです（修了所要単位はともに54単位です）。

PA

Professional Accountant
コース

公認会計士（CPA）として活躍することを目指すみなさんを対象としたコースです。

PAIB

Professional Accountant in Business
コース

企業人や公務員として活躍することを目指すみなさんを対象としたコースです。

RP

Research Paper
コース

研究論文作成の能力を身につけることを目指すみなさんを対象としたコースです。

コースの選択は、1年次秋学期からとなります。また、みなさんのニーズの変化に柔軟に対応するため、一度選択したコースを学期ごとに変更することも可能です。

変更点 2 導入科目群の設置

本大学院は、会計について基本的な知識を有していることを前提に、高度で専門的な知識を段階的に提供しています。しかし、入学生の中には、「超会計人」になるための素養は有しているものの、会計についての基本的な知識をまだ有していない方もいます。そこで本大学院では、これまで実施してきた入学前教育プログラムに加えて、特にこうした方を対象に、専門的な学習を行う前段階として、新たに導入科目群（「中級商業簿記」「中級工業簿記」の2科目）を設置し、入学後に提供します。

(1) 導入科目群科目の履修について

導入科目群科目の履修が必要となる方は、入学者の中で会計についての基本的な知識をまだ有していない（入学時に日商簿記検定2級程度のレベルに至っていない）と本大学院が判定した方です。具体的には、入試方式やその成績に応じて会計の基礎力を判定します。

それ以外の方は、導入科目群科目を履修する必要はありません。

なお、導入科目群科目の履修対象者は、その単位修得まで、基本科目群科目（企業法を除く）の履修は認められません。

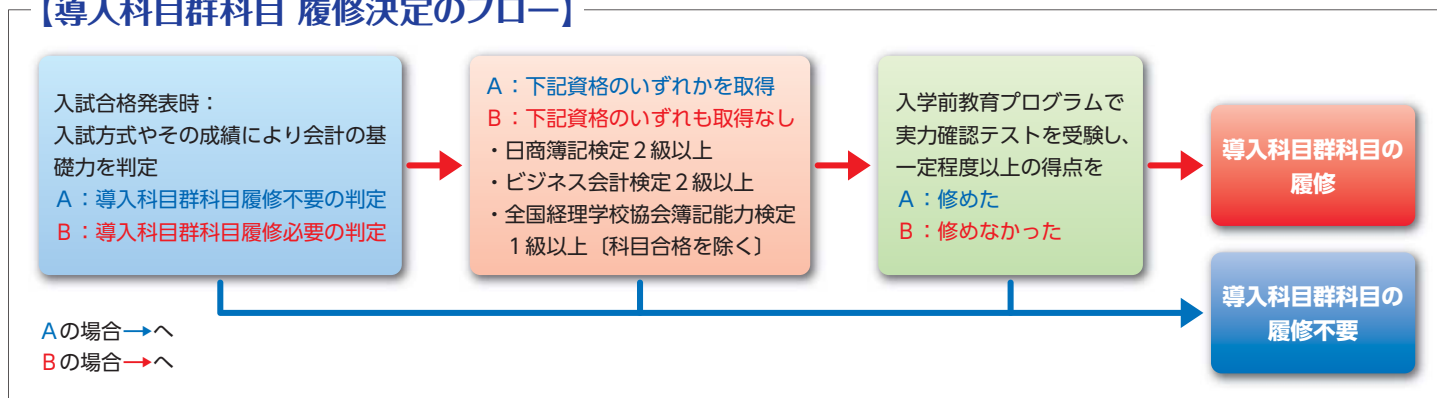
(2) 導入科目群科目の履修免除について

入試合格発表時点で、導入科目群科目の履修が必要と判定された場合でも、入学時までに、以下の①又は②に該当する場合は、導入科目群科目の履修を免除します。

- ①入学前教育プログラムの一環として実施される実力確認テスト（3月実施予定）において、一定程度以上の得点を修めた場合
- ②入学までに「日商簿記検定2級以上」、「ビジネス会計検定2級以上」、「全国経理学校協会簿記能力検定1級以上【科目合格を除く】」のいずれかに合格した場合

会計の基本的な知識の習得については、本大学院で合格後から入学前の期間に実施している入学前教育プログラムなどでもサポートしますので、積極的に活用してください。

【導入科目群科目 履修決定のフロー】



変更点 3 その他のカリキュラム改正について

コース制の導入、導入科目群の設置に併せて、以下のカリキュラム改正を行います。

- 基本科目群科目の単位数を2単位から1単位に変更します。
- 主として、PAIBコース生を対象として、ビジネススキル等を養成する「実践コミュニケーション」を新設します。
- RPコース生を対象として、修士論文作成のための授業科目（「論文指導・修士論文（基礎）」「論文指導・修士論文（実践）」「修士論文」）を新設・拡充します。
- 個別演習科目のカリキュラムを見直します。

2013年度カリキュラムは、随時ホームページを通じてお知らせしますので、ご確認ください。
ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。